



2022年9月8日
京都鉄道博物館

鉄道開業150周年記念企画展

「鉄道いろいろいろは展

～150年の歴史を彩った鉄道のあゆみ～」



鉄道が開業して150周年。現在まで運行された、新幹線・特急・通勤列車などの鉄道車両をキーワードに、日本の鉄道のあゆみをひもときます。また、車両の色、沿線の様子、様々なサービスに注目し、関西を彩った国鉄・私鉄の特徴的な車両や特色も紹介します。

鉄道の150年のあゆみを彩ってきた色の世界をご堪能下さい。

開催期間 2022年10月8日(土)～2023年2月12日(日)
開催場所 本館2F 企画展示室

展示内容

1. 関西を走った鉄道車両たち

「国鉄色」「湘南色」「スカ色」など、国鉄の鉄道車両の塗色には通称が付けられていました。車体の色や形をキーワードに、関西の人々の足となってきた鉄道車両の特色を紹介します。



▲489系電車 特急「白山」とEF63形
電気機関車 協調運転 写真



▲国鉄153系電車
「新快速」1/20模型

2. はじまる鉄道、広がる路線

鉄道開業時を紹介する錦絵や、大正期の京都・大阪間の沿線を描いた絵巻、各時代の絵葉書、ポスターを中心に、色鮮やかな資料で鉄道のあゆみをたどります。



▲錦絵「高縄鉄道之図」(1871(明治4)年)



▲大阪の電車・列車シリーズ記念入場券
(1978(昭和53)年)

3. さまざまなサービスが生まれた

快適な車内を形作った特徴的な座席、鉄道網の拡大とともに進んだ沿線の開発、乗る鉄道から楽しむ鉄道へと広がった様々な旅行や駅弁、鉄道のあゆみは1つの分野にとどまらない文化。あゆみと共に生まれてきた様々なサービスを紹介します。



▲駅弁掛紙(峠の釜めし)



▲117系車両座席

企画展関連イベント情報！

鉄道開業 150 周年記念シンポジウム

「関西の鉄道と鉄道における研究開発活動」

【開催日】 2022年10月15日(土)

【開催会場】 本館3F ホール

【参加人数】 各回 先着約40名様 (参加人数に達し次第、受付を締め切ります。)

【参加方法】 無料 (要入館料)

※自由に入退場可能です。参加ご希望の方は開催会場までお越し下さい。

【スケジュール】

開催時間	内容
13:30~14:15	基調講演①
14:20~15:05	基調講演②
15:05~15:20	休憩
15:20~16:00	パネルディスカッション

基調講演① 講師：澤井 実氏 (大阪大学名誉教授)
テーマ：「二つの鉄道技術研究所—国鉄と満鉄—」

基調講演② 講師：廣田 誠氏 (大阪大学大学院教授)
テーマ：「私鉄王国関西における高速電気鉄道の発達」



大阪大学名誉教授

澤井 実(さわいみのる)氏

1978年 国際基督教大学教養学部卒業

1983年 東京大学大学院経済学研究科単位取得退学

その後、東京大学社会科学研究所助手、北星学園大学経済学部助教授、大阪大学経済学研究科教授、南山大学経営学部教授を経て、現在、大阪大学名誉教授。

企業家研究フォーラム元会長、経営史学会前会長。



大阪大学大学院教授

廣田 誠(ひろたまこと)氏

1984年 和歌山大学経済学部経済学科卒業

1986年 大阪大学大学院経済学研究科博士後期課程中退。経済学博士(大阪大学)、大阪大学助手、下関市立大学経済学部専任講師、神戸学院大学経済学部専任講師・助教授・教授

2008年 大阪大学大学院経済学研究科教授。

日本最大級の鉄道ジオラマで楽しむ鉄道150年！

鉄道ジオラマ 特別プログラム

「それゆけ！150年を駆け抜けろ！！」

企画展開催に合わせて、特別プログラムを上演！鉄道150年の歴史を振り返る映像とともに楽しみいただけます。また、SLも初めて運転！

【開催期間】 2022年10月8日(土)~2023年2月12日(日)

【開催場所】 本館2F 鉄道ジオラマ

【上演時刻】 ①10:45 ②12:15 ③13:00 ④13:45 ⑤14:30 ⑥16:00

【参加料】 無料 ※要入館料



▲画像はイメージ

鉄道150年の歴史を彩った1両の客車が 収蔵車両の仲間入り！

この度、2022年10月14日(金)鉄道開業150年目「鉄道の日」に、新たに「マイテ49形2号車」が仲間に加わり、当館の収蔵車両は54両となります。

これを記念し、収蔵お披露目式典の開催を計画しています。詳細は決まり次第、お知らせします。



▲マイテ49形2号車